

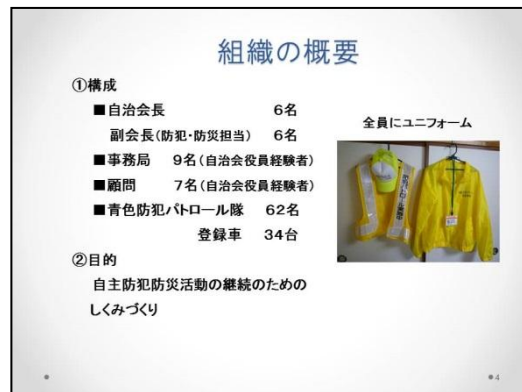
## 西大和6自治会連絡会（奈良県）

### 活動地域と団体の概要

西大和6自治会連絡会です。最初の写真は私たちのマスコットキャラクターろくちゃんです。6つの自治会が一緒になって活動しようということで、このキャラクターを作って、名刺などの全ての印刷物等にこれを使っています。

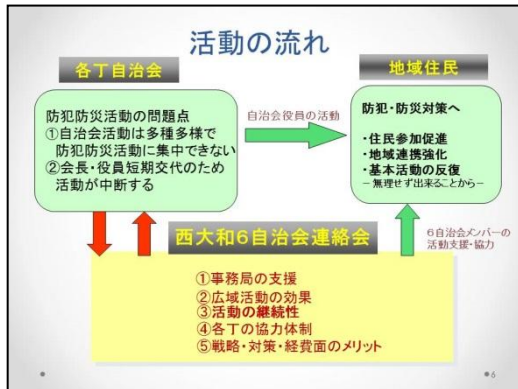
私たちのまちは奈良県の北西部、大阪からだいたい30～40分の所に位置する西大和ニュータウンという所にございます。ここは上牧町と河合町の両町にまたがる、昭和40年代から開発が始まったベッドタウンです。大阪の通勤圏として発展をしてまいりまして、最近は非常に高齢化しています。高いところで30パーセントぐらいの高齢化率となり、老人が増えているという状況です。

6自治会連絡会は、6つの自治会が一緒になって連絡会をつくっています。やはり防犯というのは、自治会が中心になって住民の方々に防犯について関心持ってもらう、そういうことが大事です。連絡会には事務局があります。事務局を作ったのは、連絡会をつくってから3、4年後でした。現任の自治会長6人と事務局9人、顧問7人、青色防犯パトロール隊が60人、登録車が34台という体制です。目的は自主防犯、防災活動を継続するための仕組みづくりということでやっています。



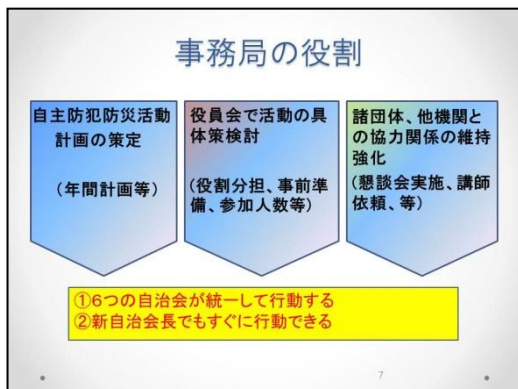
## 活動の概要～連絡会と事務局の役割

自治会活動で問題になりますのは、仕事が非常にたくさんあるということです。清掃とか、お祭りとか様々あって、防犯防災活動だけに集中できない現実があります。私も定年後3年ぐらいしてから、地域のことについて無関心だったので何度か断っていましたが、ついに会長になってしまい、やってみますと、大変な仕事がいっぱいある。そのうえ会長と役員は1年から2年で交代します。



どうすれば継続した活動ができるかが問題になって、連絡会をつくってやってみようということになったわけです。連絡会ができたのは平成14年でしたが、当時の会長たちはそれぞれに困っており、近隣の6つの自治会が集まって何かしようじゃないかという雰囲気が自然発生的に生まれました。

連絡会ができたので事務局をつくりました。事務局といっても、自治会長、副会長が中心になってつくったので、新しい会長さんを指導したり、みんなで協力しあったりという形の事務局です。6自治会が統一して行動することで、新しい会長さんでも4月からすぐ防犯活動に入っていけます。単独自治会ですと4月はいろいろ忙しくて活動が中抜けになりやすい。だから新任されてすぐ防犯活動に入っていくためには、こういう仕組みが大事だろうということで事務局を設置しました。



毎月1回の役員会は重視しています。連絡会ですから各自治会の情報を集めて検討する。また連絡会が集めた情報を皆さんに発信する。情報の収集と発信を事務局でやらなければなりません。何をやるにしても、この話合いが基本になってきます。

これは自治会だけではなく。地元の警察、役場、学校、PTA、その他いろいろな団体と

の懇談会を年に1回やっております。こういう関係団体との協力も大事です。特に私たちは立ち上げ以来、地元の西和署の生活安全課に非常にお世話になり、懇意にさせていただいています。

## 活動の概要～日常活動

キーポイントの一つは、先ほど言いましたように継続することです。もう一つはやはり、地域住民の目線で活動するということです。地震以来、絆ということが盛んに言われていますが、絆を大切にする、地域力を高めることが重要です。

そういうことでいろいろ考えました。そして例えば、警察と一緒にポスターを作り上げました。こういうものを、役員から始めて各家庭に広げていこうというわけです。全所帯はなかなか貼れませんが、何年も続けているうちにだんだん貼れてきます。あるいは、オレオレ詐欺への注意を呼びかけるチラシなどを作成して各家庭に配布しました。

こういうものを街角、各家庭の玄関先、スーパーや銀行などにたくさん掲示しています。先ほど言いました、地域力をつけようということです。これを互いに日常生活の中で、絶えず意識してきました。

このような意識の中で、徒歩による自主防犯パトロールや青色防犯パトロールに取り組んでいます。青色防犯パトロールは17年からスタートしました。運行規定を定め、地元の小学校から下校・登校時間の目安を事前に連絡してもらって、この時間に沿った形で当番を決めてパトロールしています。パトロールを終えたら、必ずパトロール日誌を書いて、次の担当に申し送りします。青色パトロールカーにはスピーカーを付けておりまして、さまざまなアナウンスもしています。

「空き巣被害ゼロ100日運動」という特別青色パトロールも実施しています。教育委員会、学校、PTA、子供会も車に同乗しての





見回りです。運動の初日には小学校で出発式を行いました。西大和署の署長にあいさつをいただいたほか、中学校のブラスバンド部を伴って地域をパレードしました。

美化運動にも取り組みます。「割れ窓理論」に基づいて、地域に根ざした防犯を実現するためにはきれいなまちが大事だということです。危険箇所を確認し、ポスターなどが古くなっていればこれを貼り替えていきます。年に2回、春と秋に実施しています。

防犯と防災は運動の両輪ですので、防災活動にも力を入れています。自治会の新役員を対象にした防災講習会を開くほか、初期消火や応急救護の防災訓練、資器材の点検などに活発に取り組んでいます。

活動を続けるなかで、消防庁の「地域安心・安全ステーション整備モデル事業」の選定、奈良県警本部長・奈良防犯協会の表彰、知事表彰、文部大臣表彰、全国防犯協会連合会・警察庁表彰などたくさんの賞も受け、非常に励みになっています。

奈良県安全・安心まちづくりアドバイザーに登録され、最近是他団体におじゃましてお話をさせていただく対外活動も増えております。「継続は力なり」「向こう三軒両隣」の精神で今後も6自治体の力を合わせて活動していきます。ありがとうございました。

## 質疑応答

●質問 大変活発な自治会活動をなさっておられますが、地域の防犯推進委員の方や見守り隊の方等おられると思いますけど、そこは重複されているのでしょうか？ また、そのような団体との連携はどのようにされていますか？

○回答 見守り隊などの方は別におられます。我々の活動と重複している方もおりますし、別になさっている方もおられます。また、年に2回、小学校で会議を開いた際に、そういう皆さんと我々6自会と話をしますが、自治会の中で普段からそういう話もしますので、特に連携と意識して何かをしてはおりません。

質問 犯罪をゼロにしようという具体的に目標を掲げておられる運動は珍しいと感じたのですが、目標を具体化したきっかけが何かあったのでしょうか？

●回答 地域力をつけるということで、日常的に町のいたるところにポスターを張ったり、あるいはパトロールしたりしていますから、関心を持ってはいただけるのですが、ついマンネリになってしまう可能性もあるわけです。そういうことですから年に1回か2回は、



そういうポイントをつくった活動をしようという形で出来上がったのが100日運動です。ちょうど彼岸の23日から暮れまで、犯罪ゼロという目標で、みんなに関心を持っていただいてやっています。15日ごとに各地方の発生状況を警察からいただきまして、会長自らが声掛けにいきます。そしてさらに関心を持っていただくと。これは西和署管内全体の運動にまで広がっておりまして、私たち、元祖ということで頑張っています。